



◆当面する重点作業

1. 仕上げ摘果の作業をすすめる（6月下旬まで）
2. メンチュウの発生が見られ場合は、背中の徒長枝や根元のヒコバエを整理し、風通しを良くする。
3. スモモヒメシンクイ対策として、りんご園等にある自家用に近いプルーン・すももの薬剤防除・耕種的防除の徹底を図り、発生量の削減を図る。
4. 梅雨になると、炭疽病・輪紋病の果実感染や褐斑病感染拡大の時期を迎え重要な防除時期となる。降雨が続く場合は散布間隔が空かないように実施する。
5. 支柱立てを実施し、主枝先端まで養水分を流れやすくさせ、高品質生産を図る。

◆果実の日焼けについて

果実の着果角度により日焼け程度は変化するので、仕上げ摘果時に注意する。
果実が斜めに着果していると日焼けしやすい。まっすぐに垂れている果実は日焼け温度になりにくいが、15度傾くと少し日焼けが発生しやすくなり、30度傾くと10倍以上日焼けしやすくなる。南～西側で枝の上に果実が載っている場合は大抵日焼けになる。

◆第7回薬剤散布について

1. 散布時期：6月11日(水)～15日(日) 散布日 月 日
2. 調 合 量：水1000ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
展 着 剤	10ml	—	—
㊟ダイアジノン水和剤34	100g	リンゴワタムシ・シツクイムシ類・ハマキムシ類・カイガラムシ類	30日
ペンコゼブ水和剤	200g	輪紋病・炭そ病・すす斑病・すす点病・黒星病・斑点落葉病	30日

4. 散 布 量：10a当り⇒5000ℓ以上
5. 散布上の留意事項
 - ①炭疽病・輪紋病の果実感染の時期を迎え、重要な防除時期のため、丁寧な散布と降雨が多い場合は、散布間隔を短くして実施する。
 - ②降雨が多い場合は、展着剤に代えて、固着性展着剤アビオンE1,500倍(水100ℓに66ml)を使用してもよい。

◆カルシウム欠乏対策について

ビターピット・ジョナサンスポット、コルクスポット等カルシウム欠乏対策として、必要に応じて、下記内容により、葉面散布肥料を散布する。

1. 対策時期：継続して月に1回程度
2. 使用資材：

資材名	倍率	1000ℓ当り使用量
ストピットⅡ	500倍	200g
スイカル	1,000倍	100g
カルビタ	1,000倍	100g
カルタス	500～1,000倍	200～100g

3. 注意事項：基本、カルシウム肥料とリン酸肥料は結合してしまうため混用しない。
ストピットⅡは、白くなるので収穫前の使用は控える。

◆苦土欠乏対策について

近年、苦土欠乏による黄変落葉が7月頃に発生することが多くなってきた。軽減対策として、下記を参考に対策を実施する。

〔葉面散布の場合〕

1. 使用資材：グリーントップ 500 倍 (100ℓ 当り 200g) 又はリーフマグ 1,000 倍 (100ℓ 当り 100g)
2. 使用時期：6月に1～2回
3. 留意事項：単用散布を推奨するが、定期薬剤散布に混用してもよい。

◆園地の除草・ハダニ対策について

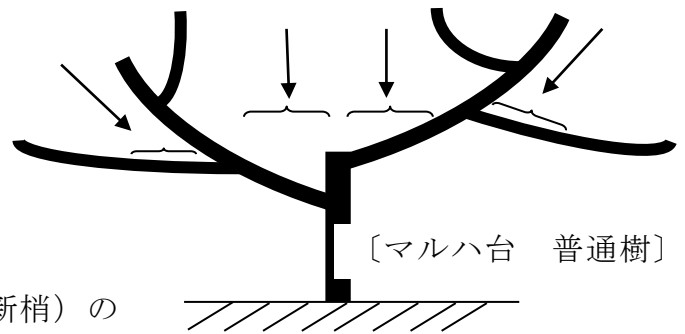
ナミハダニの発生予防、作業効率を上げるために園地の除草(刈取り)を励行する。

1. 刈取り敷草化を基本に行うが、ごく浅い中耕をしてもよい。
2. 除草剤はバスタ液剤又はザクサ液剤を使用する。
 - ①草丈30cm以下なら10a当り、水100～150ℓに液剤500ml処理する。
 - ②草丈があまり長いと効果が落ちる。
 - ③多年生(宿根性)雑草には100～200倍液で散布する。
 - ④ワイ性樹などでは葉に飛散しないよう注意する。

※殺ダニ剤の樹上散布3～5日前に草を刈り取るか、除草剤を散布すると防除効果が高い。
殺ダニ剤散布後の除草剤散布や、草刈りを行うと事後の発生が多い。

◆新梢管理について

1. 主枝、亜主枝や側枝基部の徒長枝(新梢)は全部欠き取るのではなく、30cmに1本位で千鳥に残す。
⇒ 計画的に切り(欠き)取る。
2. 着果不足で樹勢の強い樹は、徒長枝をこの時期切らずに無駄な養分を発散させる。
お盆の頃に切り取る。
3. 6月中旬にダニの防除と合わせて徒長枝(新梢)の処分をする。⇒ 30cmに1本位ずつ千鳥で適宜に残す。
4. 図の矢印部分(主枝・亜主枝の基部)の新梢は強くなりやすいので欠き取る。



◆干ばつ・多雨対策について

果実肥大促進、カルシウム欠乏軽減のため、降雨が少なく、晴天が7日以上続き乾燥状態になっている場合は、10a当り、20～30mm程度の定期的なかん水を積極的に行う。幼木に対しては特にかん水をこまめに行う。敷きワラを行い、水分ストレスを減らす。

降水量が多い場合は、「根痛み」を防ぐために、排水対策をする。特に高密植(新わい化)栽培では、水分ストレスによる黄変落葉が発生するため注意する。